

【東京都】株式会社TBM ～世界が注目する革命的新素材「LIMEX（ライメックス）」を開発～

企業概要

URL : <https://tb-m.com/limex/sustainability/sdgs/>

- 2011年創業のベンチャー企業。紙やプラスチックの代替となる革命的新素材「LIMEX」を開発。「LIMEX」は世界各地に存在する石灰石を主原料としているため、水や木材、石油由来樹脂の使用量の削減に貢献。水資源に乏しい国でも持続可能な生産モデルを確立できることが強み。
- 本業（LIMEXの開発・製造）によるSDGs達成を実現するとともに、宮城県に自社プラントを建設し、被災地に雇用を創出している。

企業情報

企業名	株式会社 TBM		
代表者	代表取締役 CEO 山崎 敦義		
設立年	2011年	従業員	149人(単体)
資本金	108億6,480万円(資本準備金含む)		
業種	窯業・土石製品製造業		
本社所在地	東京都中央区銀座2-7-17		
事業概要	LIMEX及びLIMEX製品の開発、製造、販売		
電話番号	03-3538-6777		



(株)TBM
山崎 代表取締役 CEO

SDGs達成を通じた取組

【経緯・背景等】



- 環境負荷が高い素材の使用が世界的に見直されている昨今であるが、創業当初から「100年後でも持続可能な循環型イノベーション」を企業ビジョンに掲げている。SDGs採択後は、SDGsを事業戦略と社会課題の関係を整理する指標として活用。SDGsは社内外で共通言語となっており、取引先との認識共有を図るうえでも有用なものとなっている。

【具体的な取組、製品・サービス】

- LIMEXの主原料である石灰石は、国内自給率100%超であるため、紙やプラスチックの代替素材としてLIMEXを製造することで、環境負荷の低減と付加価値の高い持続可能な生産の両立を実現している。LIMEX製品は、高い耐水性・耐久性を活かした飲食店のメニュー表や、名刺、冊子などの紙の代替製品のほか、袋や食品容器などプラスチックの代替製品の導入が進んでいる。
- 事業そのもので自然体でもSDGsに取り組めるが、あえて専任のサステナビリティ推進者を置いている。専任者が中心となり、ESG・SDGsに関する社員向けレクチャーや自社のバリューチェーンとSDGsの関係性のマッピング（ポジティブインパクトとネガティブインパクトの両側面からの分析）等を行い、新製品開発等に取り組むためのイノベーションのヒントとしてSDGsを活用している。
- SDGs達成を通じた地方創生にも取り組んでいる。2018年8月に、TBM・福井県鯖江市・慶應大学大学院の3者で相互連携協定を締結し、LIMEXを活用した「アップサイクル」モデルの構築を進めている。※アップサイクル…モノの価値を向上させながらリサイクルすること 具体的には、鯖江市内で使用済みのLIMEXを使った印刷物等を回収し、鯖江の伝統工芸である越前漆器の技法を用いた食器などに加工し、販売すること等を検討している。



LIMEX製品例



LIMEX製品例

【取り組んだ成果・効果】

- 新規取引増加、売上増加等。LIMEXの導入自体が、SDGs貢献に向けた取組みの1つとして、大手企業をはじめ普及が進んでいる。
- 2019年6月に開催されたG20や、2年連続でCOPに参加するなど、グローバルに貢献できる素材として世界へ発信。海外からの引き合いも多数。
- その他、リクルーティングや社員のモチベーションアップ等にも寄与。



宮城県多賀城市に
建設中の自社第2プラント

【貴社にとってのSDGsと、その展望】

- TBMにとってSDGsは達成しなければならない目標であり、共通言語。2019年より社会的インパクトマネジメントに注力する中で、LIMEX事業のSDGsへの貢献度、そして社会的価値の見える化を図っている。